

デジタルシグナルプロセッサ NJU26150のサンプル配布開始

デジタル サウンド システム処理を小型パッケージで提供

新日本無線では、サウンド処理のデジタル化に最適なデジタルシグナルプロセッサとしてNJU26150の3品種の開発を完了し、サンプル配布を開始しました。

NJU26150は、24ビットDSP(Digital Signal Processor)コアと各種インターフェースで構成されたプロセッサICで、EEPROMに書き込んだプログラムを内蔵のPRAMにダウンロードして動作させます。プログラミングにより容易にカスタマイズ対応ができます。デジタルオーディオ処理を必要とするAVアンプ、カーステレオ、TVなどに最適です。

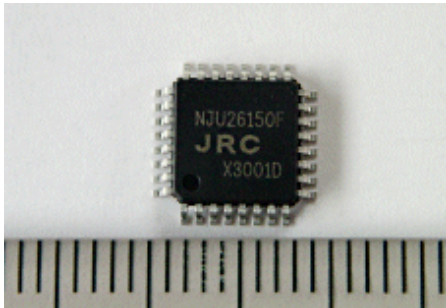
主な特徴として、

1. CDやDVDのオーディオ信号をデジタルのままサウンド処理が可能。
2. 24ビットコアの固定小数点DSPによる高機能処理が可能。
3. 小型QFP32ピンパッケージ採用による省スペース対応。

(2003年 7月31日)

<開発製品>

製品名	機能	用途	外形
NJU26150	EEPROMからのダウンローダー内蔵	AV, CAR, TV, PTVなど	QFP32



<製品の機能および特徴の概要>

- ・動作電源電圧 内部コア: 2.5V
入出力: 2.5V(+3.3Vトレラント)
- ・システムクロック 38MHz max
- ・オーディオI/F 3入力ポート、3出力ポート
(6CH入力 → 6CH出力)
- ・マイクロコンピュータI/F 4線式シリアル、または、I²Cバス
- ・外形 QFP 32

<生産予定/サンプル価格>

弊社では、NJU26150のサンプル配布を2003年6月より開始しました。生産は7月より月産30万個で立ち上げる予定です。サンプル価格は@¥700です。